

2 2 福祉・介護人材の確保・育成

〔現況及び施策の方向〕

超高齢社会を迎え、福祉・介護需要が今後さらに増大することが見込まれる中で、これらのサービスを担う人材の資質向上とともに、安定的な確保が求められている。

このため、「広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会」と連携しながら、①人材のマッチング、②職場改善・資質向上、③イメージ改善・理解促進等の施策を総合的に実施し、福祉・介護分野への幅広い人材の参入促進・育成・定着を推進している。

これらの取組については、高齢者等ができるだけ住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を進める観点からも、市町や関係団体等と連携し、県内全域でも展開していく。

〔事業の内容〕

1 人材の確保・育成を推進する基盤づくり（予算額 14,955 千円）

(1) 総合支援協議会の運営（予算額 5,225 千円）（平成 24 年度創設）

「広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会」（経営者団体、職能団体、教育関係者、労働関係機関等 25 の団体等で構成）において、福祉・介護人材の育成、確保及び定着に向けた全県的な取組を計画、実施するとともに、年度ごとに評価・改善を行う。

※事務局：（社福）広島県社会福祉協議会

(2) 地域人材確保推進体制整備事業（予算額 9,730 千円）（平成 27 年度創設）

地域の実情に応じた人材確保策を図るため、市町ごとの「地域人材確保推進体制整備事業」を支援するとともに、二次保健医療圏単位での市町間連携や全体の底上げを視野に入れた情報共有を図る。

2 福祉・介護人材の確保・イメージ改善（予算額 691,317 千円）

(1) 福祉人材育成センターの運営（予算額 13,804 千円）

福祉・介護業務に係る求人・求職のマッチングを支援するため、無料職業紹介や面談会、就職相談会等を実施する。（（社福）広島県社会福祉協議会へ委託、平成 5 年指定）

広島県社会福祉人材育成センター	
場 所	広島市南区比治山本町 12-2（広島県社会福祉会館内）
電話・ファクシミリ	tel (082) 256-4848 fax (082) 256-2228
U R L	http://www.hiroshima-fukushi.net
業務時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分（ただし 12 時～午後 1 時は閲覧のみ）
休 日	土曜日、日曜日、休・祝日、12 月 29 日～1 月 3 日

第 1 表 求人・求職等の状況

（単位 人，件）

区 分	新規求人・求職		有効求人・求職		就職者 ^{※3}	相談	
	求人 ^{※1}	求職者	求人 ^{※2}	求職者 ^{※2}		求人相談	求職相談
令和元年度	2,247	456	15,007	2,300	79	155	388
平成 30 年度	2,378	500	17,133	2,648	73	190	285
平成 29 年度	2,763	618	20,880	3,353	102	843	605

※1 求人登録の有効期限が登録月の翌々月末までであり、求人が充足しない場合には、再度新規の求人として登録されるため、延べ数である。

※2 各年度 3 月末現在の数値である。

※3 広島県社会福祉人材育成センターにおいて把握している数値である。

(2) 人材確保の支援（予算額 2,515 千円）

無料職業紹介や、合同求人面談会や介護福祉士の再就職を支援するための研修・相談会を実施し、福祉・介護人材のマッチングを総合的に行う。（平成 24 年度創設）また、入門的研修を実施し、子育てや仕事が一段落した中高年層や女性等幅広い層からの人材参入を促進する。（平成 31 年度創設）

(3) 福祉・介護職の魅力発信（予算額 13,907 千円）

「介護の日」フェスタ in 広島で開催やメディアプロモーションを通じて、県民に福祉・介護職の魅力を発信し、イメージアップを図るとともに、介護技術を競う「ひろしまケアコンテスト」等を実施し、介護従事者のモチベーション向上にもつなげる。（平成 24 年度創設）

第 2 表 魅力発信イベント参加者状況

（単位 人）

イベント事業名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
「介護の日」フェスタ in 広島	6,100	7,644	11,200
ひろしまケアコンテスト	281	363	350

(4) 福祉・介護職の理解促進（予算額 12,726 千円）

将来、福祉・介護職へ就業する可能性のある者の進路決定に当たって、誤った情報や先入観による選択が行われないよう、小・中・高校生・大学生、保護者、教員等に対し、福祉・介護業務や就業環境等に関する情報提供・啓発を実施する。（平成 24 年度創設）

第 3 表 小中高大学への出前授業状況

（単位 校, 人）

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
小学校	29 校	29 校	36 校
	1,494 人	2,238 人	2,626 人
中学校	6 校	11 校	14 校
	624 人	1,158 人	1,228 人
高等学校	20 校	22 校	24 校
	2,140 人	3,302 人	1,961 人
大学校	10 校	8 校	9 校
	774 人	202 人	217 人

(5) 修学資金・再就職準備金の貸付け（貸付原資 635,898 千円）

県内の介護福祉士・社会福祉士養成施設や実務者研修機関に在学する学生に対し修学資金を貸し付け、介護人材等の育成・質の向上を図る。また、離職した福祉・介護人材のうち一定の経験を有する者に対し、再就職する際の準備金を貸付け、潜在介護人材等の呼び戻しを図る。

（（社福）広島県社会福祉協議会へ補助、修学資金：平成 21 年度～，再就職準備金：平成 28 年度～）

(6) 外国人介護人材の受入支援（予算額 12,467 千円）

外国人介護人材について、受入れを行う事業所からの聞き取りによる実態把握・分析を行い、制度説明や受入れに対するノウハウを共有するセミナーを開催する。

また、介護福祉士養成施設が留学生に対し、カリキュラム外の日本語学習等を行うための取組を支援するとともに、外国人介護従事者を対象として資質向上を図るための研修を実施する。（令和元年度創設）。

3 福祉・介護従事者の定着促進・資質向上（予算額 68,675 千円）

(1) 福祉・介護職場改善の促進（予算額 10,386 千円）

人材確保・定着に向けた事業者の改善点を明らかにする自己点検ツールを提供すること等により、個々の事業所の自己改革に向けた取組を支援する。また、一定の基準をクリアした法人を認証する「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」への登録を促進し、利用者や職員を大切にする法人の取組を広く県民に周知し、業界全体の底上げとイメージアップにつなげる。（自己点検ツール：平成 25 年度、魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま制度：平成 27 年度創設）

第 4 表 魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま認証状況
(単位 法人)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
認証法人（累計）	95	105	144

(2) 資質向上の支援（予算額 38,012 千円）

法人・事業所の経営者・管理職等を対象とした、職員育成・労務管理・業務改善等の経営マネジメントセミナーや研修を実施し、就業環境の改善に向けた取組を支援する。また、小規模事業所向けの階層別研修、県標準マニュアルを活用した技術向上研修、医療的ケア能力向上研修等を実施し、福祉・介護職員の資質向上やキャリアアップを支援する。（平成 24 年度創設）

(3) 介護ロボット導入支援（予算額 19,001 千円）

介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図るため、事業所への介護ロボットの導入支援を行う。（平成 28 年度創設）

第 5 表 介護ロボット導入支援状況

(単位 台)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
介護ロボット導入支援	299	250	231

(4) 合同入職式の開催（予算額 1,276 千円）

県内で新たに福祉・介護職に従事する職員を激励し、研修を通じて資質の向上やモチベーションアップを図り、新人職員同士が絆を深めることにより、離職防止を図る。（平成 29 年度創設）

第 6 表 合同入職式参加状況

(単位 人, %)

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
合同入職式参加者	299	250	231
参加者の 1 年後の離職率	1.4	3.6	2.1

4 介護職員研修指定等事業（予算額 19,619 千円）

(1) 介護人材養成施設等指定事業

法（介護保険法等）の規定に基づき、介護職員等の初任者研修・生活援助従事者研修事業者、実務者養成施設等を指定する。（平成 11 年度創設、生活援助従事者研修は令和元年度開始）

なお、介護人材育成プロセスの見直しに伴い、平成 25 年度より訪問介護員養成研修 2 級課程が「介護職員初任者研修」に移行され、訪問介護員養成研修 1 級課程及び介護職員基礎研修が「実務者研修」に一本化された。（ただし、平成 25 年度未修了者への対応のため 1 年間の経過措置設定あり）。

第7表 初任者研修事業者等の指定状況

(単位 事業所, 件)

区 分	研修事業者数 (4月1日現在)	研修数 (4月1日現在)
令和元年度	19	43
平成30年度	22	52
平成29年度	21	49

第8表 実務者養成施設の指定状況

(単位 事業所, 件)

区 分	養成施設数 (4月1日現在)
令和2年度	61

第9表 介護員養成研修(初任者研修等)修了者の状況

(単位 人)

区 分	介護職員 初任者研修		介護職員 基礎研修課程		訪問介護員			
					1級課程		2級課程	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
平成30年度	1,140	34	0	0	0	0	0	0
平成29年度	1,453	32	0	0	0	0	0	0
平成28年度	1,826	74	0	0	0	0	0	0
平成27年度	1,992	84	0	0	0	0	0	0
平成26年度	2,419	111	0	0	0	0	18	1
平成25年度	1,908	76	136	0	1	0	2,989	90
平成24年度	-	-	465	6	24	0	6,221	91
平成23年度まで	-	-	815	1	4,904	1,413	84,125	25,400
合 計	10,738	411	1,416	7	4,929	1,413	93,353	25,582

(注) 訪問介護員・基礎研修課程：19年度から指定

(2) 喀痰吸引等(たんの吸引・経管栄養)従事者・事業者・研修機関登録事業

社会福祉士及び介護福祉士法等の規定に基づき、喀痰吸引等を行える介護職員等及び事業所並びに研修機関を登録する。(平成24年度創設)

第10表 喀痰吸引等の登録事業者・研修機関・従事者の実施状況(令和2年4月1日現在)

(単位 事業所, 件)

区 分	登録特定 行為事業者	登録研修機関			認定特定行為業務従事者認定件数			
		第1号	第2号	第3号	第1号	第2号	第3号	経過措置
令和2年度	624	21	38	13	540	1,934	2,162	4,960

(3) EPA(経済連携協定)に基づく外国人介護職員研修支援事業(予算額 19,619千円)

国の経済連携協定に基づく、インドネシア、フィリピン、ベトナムからの外国人介護福祉士候補者の受入施設に対し、日本語能力及び介護分野の専門知識習得の研修経費の一部を助成する。

(平成22年度創設, 補助基準額: 候補者1人当たり235千円以内等, 負担割合: 国10/10)

第11表 EPA介護福祉士候補者の受入状況
(令和2年4月1日現在)

受入年度	H20~H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	延 計	内訳				
									試験 合格者		不 合 格 帰 国 等	途 中 帰 国	候 補 者
									就 労 中	帰 国			
インドネシア	4	9	7	5	9	6	4	44	9	5	10	1	19
フィリピン	9	6	3	6	6	3	6	39	4	5	10	4	16
ベトナム	0	3	2	4	4	4	3	20	6	1	0	3	10
計	13	18	12	15	19	13	13	103	19	11	20	8	45

5 介護サービスの質の確保（予算額 32,676 千円）

- (1) 介護支援専門員（以下「ケアマネ」という。）の登録（予算額 9,912 千円）
 ケアマネの登録・管理及びケアマネ証の交付を行う。（平成 12 年度創設）

第 12 表 ケアマネの養成状況

（単位 人，％）

区 分	試 験			実務研修修了者	登録者数 (令和2年4月末日)
	受験者	合格者	合格率		
令和元年度	1,123	211	18.8	未定	19,164
平成30年度	1,118	126	11.3	149	
平成29年度	2,967	651	21.9	609	

（注）実務研修修了者には、前年度からの繰越による修了者及び他都道府県からの受講地変更による修了者を含む。
 令和元年度の実務研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となっている。

- (2) ケアマネジメント機能強化事業（予算額 22,764 千円）

ケアマネの法定研修の実施に必要な講師や指導者を養成するとともに、ケアマネの資質向上のための研修機会を提供する。

また、地域の主任ケアマネを中心に地域のケアマネ組織を強化し、ケアプランの作成力の向上や多職種連携を推進することで、地域包括ケアシステムの強化につなげる。（平成 27 年度創設）